

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	情報科教育法I		
英文授業科目名	Educational Methods for Information Studies I		
開講年度	2005年度	開講年次	2～4年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	香山 瑞恵		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kayama@isc.senshu-u.ac.jp	http://163.136.121.43/cc/ http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/990301d/990301k.htm

【主題および達成目標】
<p>(a)主題：高等学校での普通教科「情報」および専門教科「情報」を指導するにあたって、本教科の理念、目的を理解した上で、適切な指導の方法を工夫できる教師としての能力の基礎を築くこと。</p> <p>(b)達成目標：教科「情報」の教員となる履修者自身の自己学習力の習得という観点から、教員自身の情報教育リテラシー育成（授業の工夫や児童・生徒に対する観察力・指導力、責任感の向上等）を意識し、教科「情報」の授業を行う教員の活動それ自体を「情報的な問題解決」（問題発見、問題認識、問題解決のための計画立案、実施の手続きの整理、実施、分析・評価、改善、発表・報告、議論）として捉えられるようになること。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
専門教科情報（「情報産業と社会」、「情報と表現」、「アルゴリズム」、「情報システムの開発」、「ネットワークシステム」、「モデル化とシミュレーション」、「コンピュータデザイン」、「図形と画像の処理」、「マルチメディア表現」）に関連する科目。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【教科書等】

教科書：情報科教育法（丸善出版、岡本敏雄他編著）、高等学校学習指導要領解説情報編（開隆堂、文部省）

参考書：教職必修・情報科教育のための指導法と展開例（実教出版、岡本敏雄他編著）

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

- 1：オリエンテーション（講義の進め方、教科「情報」の現在の様子など）
- 2：教科「情報」の理念と設立の経緯
- 3：学習指導要領に基づく教科「情報」の内容と意義
- 4：情報利活用のための実践力とその学習指導
- 5：情報の科学的な理解と情報表現に関する学習指導
- 6：社会への参画と協調的コミュニケーションの学習指導
- 7：専門教科「情報」の教育課程編成と指導法

(b) 授業の目的：

ここでは以下の事柄の理解を目指します。

- ・高等学校の学習指導要領の総則を理解し、学校の教育課程をより良く編成するための方法や留意点を認識・修得する。
- ・教科「情報」の様々な開設形態とその影響とを考察する。
- ・教科「情報」の教育目的、指導方法の特色や、それを必修で履修させることの意義・役割を情報教育の体系的・系統的カリキュラムの中に位置付けて理解する。
- ・教科「情報」と他教科等との関連について理解する。
- ・教科「情報」の各科目の内容や特色を理解する。
- ・普通教科「情報」と専門科目「情報」との違いを理解する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

随時に課すレポートを全て提出することを前提にして、出席、レポート内容、講義へのコミットメント度を、次のように総合評価します。

成績評価	出席	40%
	レポートの内容	40%
	講義へのコミットメント	20%

講義へのコミットメントの内容に関しては、初回講義時に説明する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等は電子メールで受け付けます。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【学生へのメッセージ】

平成15年度から展開されている高校教科「情報」。その指導方法を自分の頭で楽しみながら「考える」ことのできる学生を歓迎します。

講義に関連して、高等学校への授業見学（普通教科情報と、専門教科情報の両方）を行います（予定）。

【その他】

授業はLMS(Learning Management System)を利用しながら進めます。

そのために、教室から情報科学センタ経由でインターネットに接続する必要があります。

受講前に、必ず情報科学センタのアカウントを取得しておいてください。

また、学内での無線LAN利用講習を受講した者に関しては、個人PCの持込および無線LAN経由でのLMSの利用を推奨します。